

秋が九条

京都市立九条中学校

発行日：令和4年10月24日

発行者：校長 川島 浩明

学校だより 10月号

再出発の8・9月から躍動の10月へ

10月7日(金)の文化祭に続き、先日10月20日(木)に体育祭を実施いたしました。文化祭、体育祭ともに、感染症対策として基本的な対策に加え、規模や形態等で工夫を行い、どうにか保護者の皆様や地域の皆様のご参観をいただきながら実施することができました。これまでのご理解とご協力、誠にありがとうございました。

今回は、そうした場での生徒のみなさんの躍動する様子を振り返ってみたいと思います。

文化祭の様子から

まず開会セレモニーでは、生徒会本部と代議委員会の生徒のみなさんによる「よさこいソーラン」が披露されました。放課後の練習に取り組んできた成果を、受け継がれてきた衣装を身にまとい舞ってくれました。大きくそろった動きに合わせて勢いよく発せられる掛け声で迫力ある演技となり舞台が一気に盛り上りました。

続いて、学年ごとの舞台発表では、それぞれのカラーを出して、自分たちが表現したい内容を楽しみながら披露してくれました。

☆1年生

合唱発表 1組「この星に生まれて」 2組「そのままの君で」

学年の先陣を切っての発表は緊張もあったことでしょう。それでもしっかりと前を向き堂々と歌い上げる姿が文化祭の雰囲気をグンと高めてくれました。指揮や伴奏も落ち着いてでき立派でした。一番人数の多い学年が、それぞれの個性を認め成長していこうとする今の様子を感じさせてくれる発表でした。

☆2年生

総合発表「高校へ行こう！」では、パワーポイントによる聞きやすい説明に加え、寸劇やギャグも交え見るものを飽きさせないプレゼンでした。4組学習発表会「ハンドベルによるエーデルワイス演奏」では、3名の息の合った演奏が心に届きました。お互いを気遣い、気持ちを合わせようとする姿が素晴らしいでした。1・4組合唱「心の瞳」 2・4組合唱「あすという日が」では、抜群の指揮と伴奏で、笑顔の合唱を引き出していましたね。

☆3年生

学年劇「時をかける少女」では、演技に加え、道具や美術、音響に、ダンスパフォーマンスなども効果的に演出し、みんなで一つの舞台を作り上げていきました。タイムリープを繰り返し、危機を乗り越えていく主人公に自分たちのこれからを重ねていたのかもしれませんね。総合「平和学習（修学旅行事後学習）発表」では、代表者の平和への思いとともに、3年生みんなでつくった「平和宣言」を述べてくれました。学年合唱「この地球のどこかで」は、3年間の思いを込めた歌声となりました。





グしたゲームの体験を企画し、大いに反響を呼んでいましたね。作品や成果物に触れることで、その人の頑張りや思いに触れるという、展示ならではの魅力を感じることができました。

体育祭より

本校ならではの体育祭は、個人2種目と団体4種目にそれぞれが参加する出番の多いところが特徴です。そして、その中で生徒のみなさんは、自分の全力を出して競技してくれました。転んだりアクシデントがあったりしても気持ちを切らさず走り切ります。上位がゴールしても最後の人がゴールするまで応援を続け、拍手で盛り上げていきます。また係にあたっている人も頑張っていたねえ。自分で考え、走って移動し、てきぱきとした動きで競技を時間通りに進めてくれました。そして、団体種目の前の各クラスの団結の様子がとっても良かった。順位に関係なく仲間を讃える姿などはみんなさんの友情を見せてもらいました。またクラブ対抗リレーも大いに盛り上がりました。盛り上がるこって学校行事では大切な要素ですが、やっている人だけではしらけてしまいますよね。みなさんは、出る人も見る人も一緒にになって競技に参加しているから盛り上がるんだと思いました。勝敗だけにこだわらず、お互いの頑張りに気づいていく姿勢は立派です。この経験を次につなげてください。



保護者・地域の皆様へ

おかげをもちまして、本年度の文化祭及び体育祭を実施することができました。コロナ禍においてすべてがそろいすべての思いにこたえるものではなかったかもしれません、皆様のご理解とご協力をちまして、子どもたちが取り組んだ証や次へつながる経験となったかと思います。本年度も後半に入り、各学年とも次のステップに移っております。それぞれの歩みが、生徒一人一人にとって確かな成長へつながるものとなるよう、教職員一同、気を引き締めて取り組んでまいります。引き続き、ご支援のほどよろしくお願ひ致します。